



C-STEP会員企業
貢献度評価表記入説明書

2002年4月～2007年3月

評価・顕彰システム検討委員会



CAREER SUPPORT & TALENT ENHANCEMENT PLAZA

社団法人

おおさか人材雇用開発人権センター



C-STEP会員企業 貢献度評価表記入説明書 目次

1 就業体験・能力開発 P2.3.4

2 雇用 P5.6

3 C-STEPを通じた委託・アウトソーシング P6.7

4 企業からの提案 P8

5 会員 P8

第2期C-STEP会員企業貢献度評価制度について P9.10



1 就業体験・能力開発

①-1. 人材スキルアップコース

ア 職場実習実施への企業エントリー

- 人材スキルアップコースでは、約2週間の職場実習を実施します。その職場実習にエントリーした企業が該当します。
- 評価点数には、毎年度のエントリー回数を記入してください。また、評価点計には、各年度の合計を記入してください。

イ 講座受講生の職場実習の受け入れ実施

- 上記 **ア** の職場実習にエントリーした企業の内、実際に受講生を職場実習に受け入れた企業が該当します。
- 評価点数には、毎年度の受け入れ人数を記入してください。複数の受け入れ人数がある場合は、各年度毎に受け入れ人数を記入してください。また、評価点計には、各年度の合計を記入してください。

ウ 企業見学へのエントリー

- 人材スキルアップコースでは、1カ所2、3時間の企業見学を実施します。その企業見学にエントリーした企業が該当します。
- 評価点数には、毎年度のエントリー回数を記入してください。また、評価点計には、各年度の合計を記入してください。（年度により複数開催の場合は、その回数分になります。）

エ 企業見学の受け入れ実施

- 上記 **ウ** の企業見学にエントリーした企業の内、実際に受講生を企業見学に受け入れた企業が該当します。
- 評価点数には、毎年度の受け入れ人数を記入してください。また、評価点計には、各年度の合計を記入してください。



①-2. ジョブトレーニングコース(1年未満の有期間雇用)

ア 受け入れ企業にエントリー

- ジョブトレーニングコースに受け入れをエントリーした企業が該当します。
- 評価点数には、毎年度のエントリー回数を記入してください。エントリー内容が年度をまたがる場合は、エントリーした年度に回数を記入してください。また、評価点計には、各年度の合計を記入してください。

イ 受け入れ実施

- ジョブトレーニングコースにエントリーした企業の内、実際に受け入れた企業が該当します。
- 評価点数には、受け入れ人数をカウントし、受け入れ期間は点数に反映しません。年度をまたがって受け入れたときは、受け入れを始めた年度でカウントしてください。複数の受け入れ人数がある場合は、各年度毎に受け入れ人数を記入してください。また、評価点計には、各年度の合計を記入してください。

ウ ア イの受け入れを企業の障害者雇用促進計画に基づき実施

- 企業において「障害者雇用促進計画」が策定されており、その策定計画に基づき「ア イ」を実施した場合が該当します。
- 評価点数には、毎年度の実施回数を記入してください。なお、「障害者雇用促進計画」が策定されずに実施した場合は、この項目は該当しません。また、評価点計には、各年度の合計を記入してください。

エ ジョブトレーニングの障害者の受け入れ計画を策定

- 企業においてジョブトレーニングの障害者受け入れ計画が策定されている場合が該当します。
- 評価点数には、策定された年度に1と記入してください。その後、策定された年度があれば、その年度に1と記入してください。また、評価点計には、各年度の合計を記入してください。

オ 企業の障害者雇用促進計画には、知的障害者の達成目標を明示

- 企業において「障害者雇用促進計画」が策定されており、その策定計画に知的障害者の受け入れ達成目標を明示している場合が該当します。
- 評価点数には、策定計画に知的障害者の受け入れ達成目標を明示した年度に1と記入してください。その後、策定された年度があれば、その年度に1と記入してください。また、評価点計には、各年度の合計を記入してください。

カ 企業の障害者雇用促進計画には、精神障害者の達成目標を明示

- 企業において「障害者雇用促進計画」が策定されており、その策定計画に精神障害者の受け入れ達成目標を明示している場合が該当します。
- 評価点数には、策定計画に精神障害者の受け入れ達成目標を明示した年度に1と記入してください。その後、策定された年度があれば、その年度に1と記入してください。また、評価点計には、各年度の合計を記入してください。

キ 企業の障害者雇用促進計画が、3障害別での達成目標を策定

- 企業において「障害者雇用促進計画」が策定されており、その策定計画に3障害別での受け入れ達成目標が明示されている場合が該当します。
- 評価点数には、策定計画に3障害別での受け入れ達成目標を明示した年度に1と記入してください。その後、策定された年度があれば、その年度に1と記入してください。評価点計には、各年度の合計を記入してください。

3障害別毎の達成目標を策定されておられる会員は未だ少ない現状ですが、近い将来において障害者雇用促進法に精神障害者の雇用が含まれることが予想されます。従って、先行指標的な意味も込めて評価に含めています。

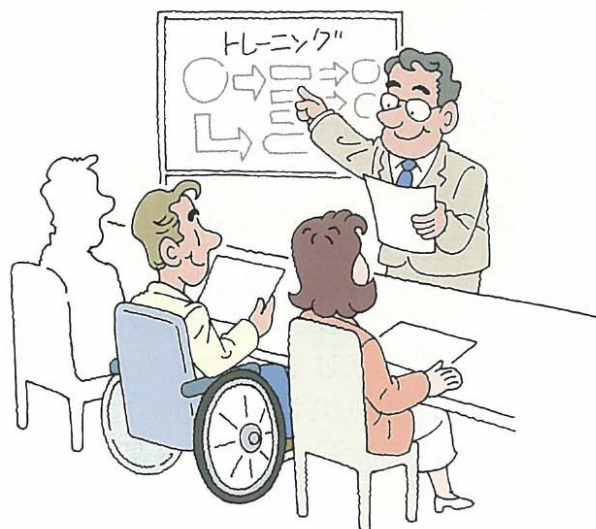
①-3. 就業体験会

ア C-STEPに就業体験会を提案

- 人材スキルアップコースとジョブトレーニングコースの修了者を対象とする職場見学会で該当者がいなかった場合や、修了者以外の方を対象とする場合は就業体験会を開催しています。その就業体験会を提案した企業が該当します。
- 評価点数には、毎年度の提案回数を記入してください。また、評価点計には、各年度の合計を記入してください。

イ 就業体験会を実施した

- 上記の就業体験会を提案した企業の中で、実際に就業体験会を実施した企業が該当します。
- 評価点数には、毎年度の実施回数を記入してください。また、評価点計には、各年度の合計を記入してください。





2 雇用

②-1. 会員企業本体で雇用

ア 常用雇用での採用

- 常用雇用をした企業が該当します。
- 評価点数には、毎年度の常用雇用した人数を記入してください。また、評価点計には、各年度の合計を記入してください。

イ 社保・労保適用のパート採用

- 社会保険、労働保険を適用したパート従業員として採用した企業が該当します。
- 評価点数には、毎年度の採用人数を記入してください。また、評価点計には、各年度の合計を記入してください。

ウ 働く側のニーズに応じたパート就労での採用

- 何らかの理由（例えば、病気等で1日8時間労働ができない場合）があり、その人のニーズに応じたパート就労で採用した企業が該当します。
- 評価点数には、毎年度の採用人数を記入してください。また、評価点計には、各年度の合計を記入してください。

エ 上記に関わる求人情報カードの提出

- 上記の求人情報カードをC-STEPに提出した企業が該当します。
- 評価点数には、毎年度の求人情報カードの提出件数を記入してください。また、評価点計には、各年度の合計を記入してください。

オ 在職年数

- 上記、ア～ウで採用した企業が該当します。
- 評価点数には、採用した年度から毎年度の在職者数を記入してください。また、評価点計には、各年度の合計を記入してください。

②-2. 会員企業の子会社・関連会社（連結決算対象）で雇用

（当該企業がC-STEP会員の場合、ダブルカウントはしません。）

ア 常用雇用での採用

- 会員企業の子会社・関連会社で常用雇用した場合が該当します。
- 評価点数には、毎年度の常用雇用人数を記入してください。また、評価点計には、各年度の合計を記入してください。

イ 社保・労保適用のパート採用

- 会員企業の子会社・関連会社で社会保険、労働保険を適用したパート従業員として採用した場合が該当します。
- 評価点数には、毎年度の採用人数を記入してください。また、評価点計には、各年度の合計を記入してください。

ウ 働く側のニーズに応じたパート就労での採用

- 会員企業の子会社・関連会社で、何らかの理由（例えば、病気等で1日8時間労働ができない場合）があり、その人のニーズに応じたパート就労で採用した場合が該当します。
- 評価点数には、毎年度の採用人数を記入してください。また、評価点計には、各年度の合計を記入してください。

エ 上記に関わる求人情報カードの提出

- 会員企業の子会社・関連会社で、上記の求人情報カードをC-STEPに提出した場合が該当します。
- 評価点数には、毎年度の求人情報カードの提出件数を記入してください。また、評価点計には、各年度の合計を記入してください。

オ 在職年数

- 会員企業の子会社・関連会社で、上記 **ア**～**ウ** で採用した場合が該当します。
- 評価点数には、採用した年度から毎年度の在職者数を記入してください。また、評価点計は、各年度の合計を記入してくだ



3 C-STEPを通じた委託・アウトソーシング

ア C-STEP事業に関連した委託契約をしている

- 「地域仕事づくりフェア」等に出展した授産施設、福祉法人、NPO等と委託契約した企業が該当します。
- 評価点数には、毎年度の委託点数を記入してください。委託点数は、1件の委託金額が3千万円超（5点）・2千万円超（4点）・1千万円超（3点）・5百万円超（2点）・5百万円以下（1点）として算出してください。また、評価点計は、各年度の合計を記入してください。

イ C-STEPと連携するNPO等を通じたグリーン調達をしている（NPO=障害者・母子家庭の母親など）

- 「地域仕事づくりフェア」等に出展したNPO等を通じてグリーン調達をしている企業が該当します。
- 評価点数には、毎年度の調達点数を記入してください。調達点数は、1件の調達金額が1千万円超（2点）・1千万円以下（1点）として算出してください。また、評価点計は、各年度の合計を記入してください。

第1回「地域仕事づくりフェア」は、実行委員会（大阪府・大阪市・C-STEP）の主催で、NPO・おおさか若者就労支援機構の協力と近畿経済産業局・関西経営者協会・連合大阪の後援で、2004年2月17日に開催されました。第2回「地域仕事づくりフェア」は規模を拡大し、2004年10月26日にマイドームおおさかで開催予定となっています。このフェアへの出展者なども該当します。

ウ 委託契約先を価格評価のみではなく、公共性・地域貢献性等での総合評価で契約している

- 公共性・地域貢献性等を総合評価して委託契約をしている企業が該当します。
- 評価点数には、発注金額が年間60万円以上の企業で、毎年度の契約件数を記入してください（大阪府・大阪市の総合評価入札制度は当然含まれます。なお、C-STEPを通じない委託先でも結構です）。また、評価点計は、各年度の合計を記入してください。

障害者の雇用の促進に関する法律において、特例子会社のグループ適用を認可する基準として「最低年間60万円程度の発注が行なわれている、又は行なわれる見込みがあること」が定められていることから、この60万円を基準としました。

1 障害者の法定雇用率を上回っている委託先と契約している

- 現在、アウトソーシングしている企業で、その委託契約先が障害者の法定雇用率を上回っている場合に該当します（C-STEPを通じない委託先でも結構です）。
- 評価点数には、毎年度の契約件数を記入してください。また、評価点計は、各年度の合計を記入してください。

2 3障害別での達成計画を策定している委託先と契約している

- 現在、アウトソーシングしている企業で、その委託契約先が3障害別での達成計画を策定している場合に該当します（C-STEPを通じない委託先でも結構です）。
- 評価点数には、毎年度の契約件数を記入してください。また、評価点計は、各年度の合計を記入してください。

3 障害者の職場適応力・技術向上の研修・訓練体制が整備されている委託先と契約している

- 現在、アウトソーシングしている企業で、その委託契約先が障害者の職場適応力・技術向上の研修・訓練体制を整備している場合に該当します（C-STEPを通じない委託先でも結構です）。
- 評価点数には、毎年度の委託契約件数を記入してください。また、評価点計は、各年度の合計を記入してください。





4 企業からの提案

ア C-STEP事業対象者の雇用・就労機会の増大策について、貴企業で実施可能、または検討可能な取組みを提案

- 企業および子会社・関連会社で、少しでも雇用・就労の増大につながる提案（例えば、アウトソーシングしている全部または一部を雇用・就労に回す等）をした企業が該当します。
- 評価点数には、毎年度の提案件数を記入してください。なお、評価点計は、「評価・顕彰システム検討委員会」で決定します。

イ 提案をC-STEPが実施した

- 上記 **ア** の提案をC-STEPが実施した場合が該当します。
- 評価点数には、毎年度の実施件数を記入してください。また、評価点計は、各年度の合計を記入してください。



5 会 員

下記の **ア** ~ **オ** の評価項目の評価点数及び評価点計は、C-STEP事務局で記入します。評価点数の算定は次のとおりです。

ア 会員年数

- 評価点数は、会員である年度を1点とします。

イ 理事・監事就任

- 評価点数は、5年の期間内の理事・監事への就任回数です。

ウ 各種委員就任

- 評価点数は、5年の期間内の各種委員への就任回数です。

エ 各種調査・事業協力

- 評価点数は、5年の期間内の各種調査・事業協力の回数です。

オ 会社概要届提出

- 評価点数は、5年の期間内の会社概要届の提出回数です。

部門賞

各分野で著しい進歩及び成果を上げられた企業に贈呈します。部門賞は「評価・顕彰システム検討委員会」で決定します。

第2期 C-STEP 会員企業貢献度評価制度について

いま、企業の社会的責任（CSR）が問われています。
C-STEP会員企業は、「雇用・就労」を通じて
人権課題に積極的に取り組む社会貢献企業をめざしています。



2003年度通常総会において
大阪府知事・大阪市長より顕彰

2003年度
おおさか人材雇用開発人権センター通常



C-STEPの評価・顕彰制度の経緯と趣旨

1981年7月3日、同和問題解決の中心的課題である就職の機会均等を完全に保障するために、企業・行政・同和地区住民による第3セクター方式で、「社団法人おおさか人材雇用開発人権センター」の前身である「社団法人同和地区人材雇用開発センター」が、423社の会員企業の参加により設立されました。

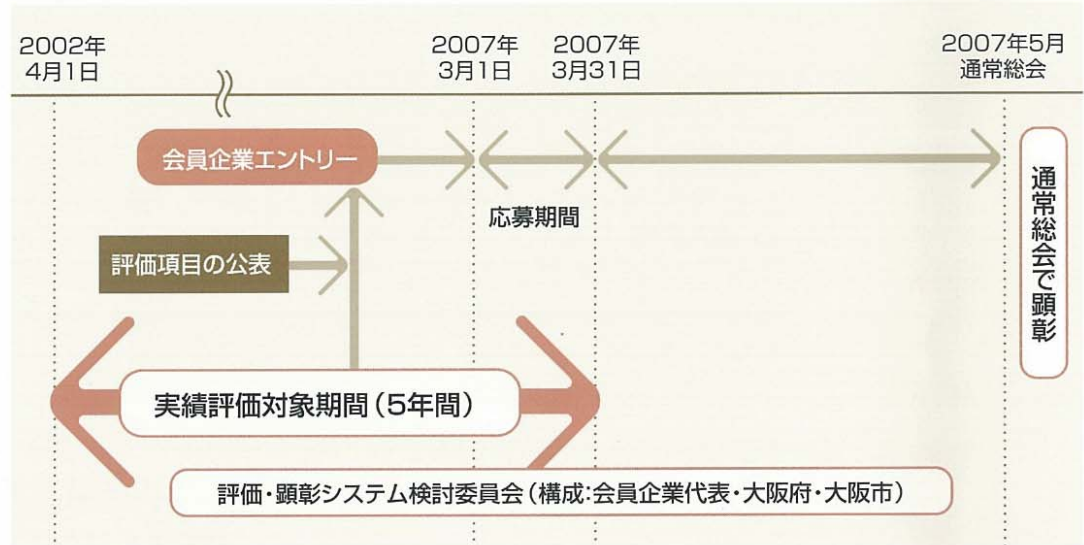
設立から約20年たったことを契機に、長年にわたり成果を出し努力を続けている企業・団体が広く社会から認知・支持され、一層社会貢献に取り組んでいき、さらにあとに続く企業・団体の刺激となり、社会への問題提起ともなるような評価・顕彰システムを導入していくことが必要であるとの決定から、2002年7月4日、「評価・顕彰システム導入検討委員会」が設置されました。そして、21年間の会員企業の取組みを正當に評価し、選ばれた企業・団体94社に対して、2003年度通常総会において、大阪府知事・大阪市長から感謝状が贈呈されました（上写真）。

さらに2003年10月30日、これからの評価をどうするべきか検討委員会を設置して協議・検討の結果、第2期『会員企業貢献度評価制度』が決定され、スタートしました。

C-STEP 第2期『会員企業貢献度評価制度』の枠組み

第2期会員企業貢献度評価制度は、概ね次図に示す枠組みとなっています。実績の評価期間を2002年4月から2007年3月末に設定し、評価項目に従い、会員企業代表や大阪府、大阪市のメンバーで構成される「評価・顕彰システム検討委員会」（委員長:水町 繁・イオン(株)）において、公正・客観的に審査評価します。

なお、本制度は、会員企業の自主的な申請に基づくもので、すべての会員企業が積極的に応募されることを期待します。



第2期『会員企業貢献度評価制度』における留意点

第2期会員企業貢献度評価制度は、5年間の評価対象期間における実績を審査評価することになります。また、何を審査評価するかの評価項目は、前掲のとおりです。このことは、各会員企業において、評価項目に基づき毎年自己チェックできるシステムであり、5年間の積み重ね＝プロセスが、重要です。

従って、次のように言い換えることができます。

第2期会員企業貢献度評価制度＝雇用・就労における自己評価診断システム

第2期『会員企業貢献度評価制度』についてのお問い合わせ

第2期会員企業貢献度評価制度についてのお問い合わせは、C-STEP事務局までお気軽にご連絡ください。また、ホームページにも案内を掲載していますので、ご覧ください。

- お問い合わせ先:C-STEP事務局
TEL:06-6567-6868 FAX:06-6567-6886
- URL:<http://www.c-step.or.jp>

社団法人
おおさか人材雇用開発人権センター

〒556-0027 大阪市浪速区木津川2丁目3番8号
「A'ワーク創造館」内
TEL:06-6567-6868 FAX:06-6567-6886
URL:<http://www.c-step.or.jp>
